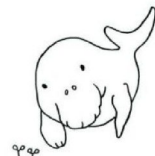


CONTENTS



- 2 基地のない島沖縄を 県民大会 21000 人
- 3 やり直しを求めた「県答申」
- 4/5 名古屋コンサート・学習交流会
- 6 CBD 市民ネット 1 年前イベント
- 生物多様性ノレッジカフェ@沖縄
- 7 辺野古アセス訴訟 第 1 回公判
- 県民会議 上京行動

いよいよ来年は COP10、そして国際ジュゴン保護年を迎えます。1 月には名護市長選挙があります。私たち SDCC は何としても辺野古新基地建設推進派の再選を阻止し、辺野古やヤンバルの自然を軍隊の破壊から守らなければなりません。生物多様性の宝庫であるジュゴン＝サンの島と海を守ることが、名古屋の COP10 に向けた最大のテーマとしなければなりません。おかしなことに米国は、この人類の存亡にかかわる生物多様性条約の締約国になっておりません。無政府状態にあるソマリアと強大な軍事国家米国が等しく不健全な思想レベルにある。私たちはこの悲しむべき現実をしっかりと受け止めて、沖縄の辺野古から鳩山政権に対し、COP10 議長国の責務を立派に果たすようにエールを送らなければなりません。

皆で守ろうジュゴンの島と海

SDCC 共同代表 海勢頭 豊

オバマ米大統領はプラハで核廃絶を目標にすると宣言しただけで、ノーベル平和賞をもらってしまいました。何だか嘘をついて沖縄を日米支配下に置いた佐藤栄作さんと重なって見えて、喜んで笑える状況にはありません。欲望と臆病を掛け合わせた強固な日米同盟。それがどれだけの国の国民を殺傷し不幸にしてきたか？その国家権力による戦争犯罪に加担させられてきた私たちは、国民としての罪を強く意識して反省しなければなりません。その上に立って、鳩山政権の外交・防衛政策が憲法 9 条からぶれないように、しっかりと意見しなければならないと思います。自公の悪政が終わったからと言って安心はできないのです。外交と防衛は国の専権事項と言うのは嘘です。米国の軍事産業の利権に支配されてきた憲法違反の自公政治の嘘です。私たちは主権者としてその権利を取り戻さなければなりません。それにしても名古屋の「サンの島コンサート」ではお世話になりました。お陰さまで大成功でした。ありがとう皆さん。ありがとうジュゴンちゃん。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



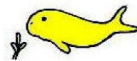
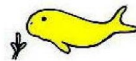
宇宙から見た地球の写真が、世界中が協力しあって一つの地球を守る機運を高めた (5 面)



舞台の上で楽しそうに踊る着ぐるみジュゴンちゃん (4 面)



基地のない島沖縄を～国連生物多様性年に向けて



11/8 沖縄県民大会に21000名



(PHOTO 琉球新報 号外より)

鳩山内閣は「国民の声を生かした政治主導の政治」、「脱官僚」をうたい文句に、誕生してから 2 カ月がたちました。最初の 100 日間が新政権にとって勝負のときといわれていますが、普天間基地移設・辺野古新基地建設問題について鳩山内閣に不信の声が高まっています。



オバマ米大統領来日を前に、外務・防衛・沖縄担当大臣の間で普天間基地移設・辺野古新基地建設問題について「普天間基地を嘉手納基地に統合案」や「従来の辺野古案移設案」と意見が異なり迷走しています。鳩山首相は年内をめどに「私が決める」と言っていますが、選挙中に約束していた県外移設ではなく、県内移設先を決めるということです。県内移設に反対する県民会議は 10 月 22 日、23 日の上京行動に続き、11 月 8 日には宜野湾市で「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会」を開き、21000 名が参加しました。東京など全国各地でも県民大会に呼応する行動が開催されました。

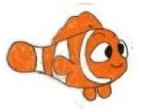


私たちは沖縄にこれ以上の基地負担を強いることには反対です。鳩山内閣に普天間基地の即時撤去、辺野古への新基地建設計画の撤回を求めます。宜野湾市のど真ん中にある普天間基地の移設は市民の安全上、緊急な課題です。また、米軍が代替施設として要求したのは長さ 45 メートルのヘリコプター発着帯だけです。それが 96 年 SACO (日米特別行動委員会) 後に、沖縄側の公共事業受注の思惑も加わり大規模代替施設案になったにすぎません。V 字型の滑走路建設など無駄な公共事業です。冷戦が終結して米中接近の現在、沖縄は米軍にとっても戦略的意味は低下しています。ましてや侵略部隊である海兵隊の駐留は不必要です。

来年 2010 年は国連国際生物多様性年です。多様な生物の宝庫・沖縄に基地は必要ありません。2008 年 IUCN 決議「2010 年国連国際生物多様性年におけるジュゴン保護の推進」の履行を鳩山内閣に求めて、新署名の取り組みを強めましょう。

環境アセス

やり直しを求めた「県答申」の実行を！


**「ジュゴン複数年調査が実施されていない」
(沖縄県アセス審査会答申)**

10月2日に沖縄県環境影響審査会が「ジュゴンなどの複数年調査が実施されていない」など必要な調査を追加・補足して、「再度精度の高い予測および根拠の明確な評価を行い」、万全の環境保全措置を講じる必要があると沖縄防衛局に環境アセスを実質やり直しさせるべきと県知事に答申しました。

5000 通を上回る市民意見と 8 回の審査会傍聴を取組んだ闘いの成果です。この取り組みが県環境影響評価審査会委員を励まし、ジュゴンや環境影響評価法の専門家の意見聴取や、2回の現地調査を実現しました。

沖縄県知事は10月13日に沖縄防衛局にジュゴンの複数年調査などのやり直しを求めたものの、「沖合への基地移設」を挿入しました。県知事の政治的な思惑です。

「やり直し意見」は、方法書や準備書の出直しではなく、市民が意見を言う場は保障されていません。

10月21日那覇地裁で辺野古アセス裁判が始まりました。「実質やり直し」を求めた「県答申」を沖縄防衛局に実行させる闘いがいま求められています。



10/21 那覇地裁 アセス訴訟第一回公判

**鳩山内閣に
新署名**


新しい署名を始めるよ！ヨロシクネ。

ジュゴンを種の保存法の指定種に


名古屋駅前で署名活動(10/17)

「2010 年国際ジュゴン年に～基地ではなく保護区を」の署名(同封)を始めました。来年 10 月の生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10)にむけた取り組みです。天然記念物で絶滅危惧種の沖縄ジュゴンを種の保存法で保護することは、COP10議長国として当然のことです。2004 年 7 月 13 日に小泉内閣は沖縄ジュゴンが法の要件に該当すると答弁しています。答弁から 5 年、いまだに実施していません。

日本政府はジュゴンのえさ場、金武湾から辺野古、嘉陽にかけた海草藻場を、ジュゴン保護区として直ちに指定すべきです。

今回の署名は今年 5 月に提出した国会請願署名 3 万 1 千筆をふまえて、政権交替した鳩山内閣に 2008 年国際自然保護連合(IUCN)第 4 回世界自然保護会議決議の履行とジュゴンを種の保存法国内希少野生動物種に選定することを求めるものです。

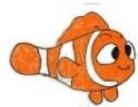
子ども向けリーフレット「ジュゴンって知ってる？」を活用して、身の回りから署名を始めてみませんか。第 1 次集約は来年 3 月です。来年 5 月には鳩山内閣に提出します。

名古屋コンサート・学習

<サンの島コンサート舞台では>

10月16日（金）は、名古屋でサンの島コンサートを開催しました。これは、来年 CBD（生物多様性条約）の第10回締約国会議（COP10）が開催される地で多くの市民に沖縄のジュゴンのことを知ってもらおうと取り組まれた1年前イベントです。コンサートⅠ部では、月桃の花歌舞団のミュージカルで昨今の社会の貧困問題と命・人権が軽視される現状が鋭く表現され、又 WWF ジャパン花輪さんのトークでは多様な生き物の恵みによって生きている私たちにとって、生物の多様性を守ることと貧困を防ぎ人の命・人権を守るとは切り離せないことが分かりやくす説明されました。そしてⅡ部では海勢頭バンドの歌と演奏が披露されました。

コンサートの舞台では、来年の生物多様性年や国際会議へ繋げるため、演奏のバックに沖縄の豊かな自然やジュゴンの画像、IUCN 総会での活動の様子などのスライド映写を行いました。演奏の邪魔をせずに文字無しの静止画のみで生物多様性やジュゴンの保護、そしてそれらを脅かす基地の問題などを表現することは非常に難しい作業でしたが、アンコールで登場した着ぐるみジュゴンちゃんには会場も湧き、最後の歌舞団エイサー隊との共演で大盛り上がるうちに閉幕しました。当日は会場がほぼ埋め尽くされる盛況でその様子は翌朝の新聞にも取り上げられるなど、多くの人に国際ジュゴン年の意義、沖縄のおかれた状況などを知り、聴きそして感じて戴く機会にすることが出来ました。（海勢頭 聖）



<棄てられようとしているいのちをつなぐ> （「月桃の花」歌舞団）

戦争と貧困を生み出す勢力は子どもから年寄りまで人間の命を切り捨てる社会を作ってきました。ジュゴンも同様に命を切り捨てられようとしている。私たち歌舞団は、棄てられる命の逆襲を描き訴えて巡回公演中のミュージカル「ポロロッカ」を30分にアレンジして上演しました。関西、関東の歌舞団メンバーが名古屋に集合し作り上げたステージです。コンサートは立ち見の出る大盛況で、「歌声が力強く、すばらしかった」などうれしい感想もいただきました。

9月22と10月11日の2回、SDCC や名古屋のみなさんと一緒に行動したコンサート宣伝やコンサート翌日の生物多様性の学習会に参加し、2010年生物多様性年に向けてその思想を広く伝える行動を歌舞団も進めていきたいと思いました。



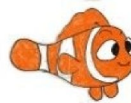
交流会



<ロビーのブース企画>

ロビーには、名古屋の「NO BASE 辺野古☆名古屋」「ぬちどう宝」、沖縄 BD ネット、大阪からの「マブイ シネコープ」「週刊 MDS」と色々なブースが並びました。「NO BASE 辺野古☆名古屋」のブースでは、ジュゴン マスコットが辺野古現地への支援カンパを訴えていました。SDCC のブースでは、マスコット、エコバッグ、絵はがきなど、オリジナルのジュゴングッズを販売。

ちょっとロビーが狭いので、売れるかなあと心配していたのですが「かわいい、かわいい」とすごい人気。2010 年国際ジュゴン年に向けての新署名もたくさん集まりました。受付もブースもてんでこ舞いでうれしい悲鳴。これも、コンサートを宣伝の段階から一緒に盛り上げてくれた名古屋のグループ、月桃の花歌舞団の協力あってこそです。ありがとうございました。(山根富貴子)



<学習交流会> (松島洋介)

名古屋コンサートの翌日の 10 月 17 日、名古屋市教育会館で、「生物多様性」って何？学習会を開催しました。会場いっぱいの 50 名の参加者がありました。

CBD 市民ネットの原野好正さんから「国連生物多様性年と COP10」という講演がありました。まず人工衛星から撮影された地球全体の写真がスクリーンに映し出されました。「この写真が撮影され公開されて、地球がひとつにつながっていること。環境を守るために世界中が協力する必要があることが広く認識されました」と原野さん。そして COP10 では生物多様性保全のための新たな目標を、具体的に設定することが課題であるとお話されました。

沖縄 BD 市民ネットからは伊波義安さんと吉川秀樹さんが発言。沖縄、特にヤンバルの森と海は生物多様性の宝庫。しかしそれが辺野古基地建設など、人権と平和を脅かす米軍基地支配によって壊されようとしていること。しかし泡瀬干潟での差し止め判決など自然環境保護は大きなながれであり、COP10 を沖縄の生物多様性保護を国際的にアピールする大きな機会にしたいと話されました。

続いて、泡瀬干潟訴訟、SDCC、NO BASE 辺野古☆名古屋、命どう宝あいち、の仲間が発言。討議では「平和人権環境、それぞれの立場から COP10 にどう関わるか議論を深めて、力をあわせていこう」と確認出来ました。そして 100 日前イベントなどを準備していこうと話しました。

辺野古に基地はいらない！ 街頭宣伝行動に参加

10 月 17 日(土)名古屋で開かれた「生物多様性って何？」の学習交流会の終了後、NO BASE 辺野古☆名古屋のメンバーが行っている名鉄百貨店前名古屋駅前の街頭宣伝行動に、小雨の降る中、SDC Cから 8 人で参加しました。バナーを広げ、折り紙やチラシを配りながら、沖縄の海の素晴らしさとジュゴンの保護区の設置などを多くの名古屋市民にアピールし、1 時間ほど署名集めをしました。NO BASE のメンバーも協力してくださり、65 筆の署名が集まりました。

NO BASE 辺野古☆名古屋は、名古屋でも辺野古に基地をつくらせない行動として、2005 年夏から毎月第 1・第 3 土曜日の午後 2 時から 3 時まで街頭宣伝を行っており、9 月 19 日で通算 100 回になったそうです。一日も早く街頭宣伝をしなくてすむ日が来ることを願って続けられています。名古屋でも辺野古の海を守るための運動の輪が広がっています。名古屋の団体とのつながりができ仲間が増えました。来年の「国際ジュゴン年」に向け、みんなで頑張っていきましょう。(矢敷克子)

生物多様性ノレッジ
カフェ@沖縄

ジュゴンの絵本よみくらべ～沖縄・オーストラリア・タイ～

10月24日(土)ぎのわんセミナーハウスで、沖縄、オーストラリア、タイのジュゴン絵本をよみくらべる集まりを持ちました。ジュゴンは科学的な生物としてだけでなく、人々と関わりを持つ文化的な存在です。世界の各地域でどのようにジュゴンが人々と関わりを持っているか、それが各地の絵本にどのように現れているか、コーヒーでも飲みながら気楽な雰囲気の中で読みくらべよう、そして「生物多様性」についても考えてみよう、という試みです。来沖中だった、タイのジュゴンの専門家カンジャン・アドゥンヤヌコソンさんはジュゴン絵本の作者でもあるので、ゲストスピーカーとしてお呼びし、絵本を書いたきっかけや、日本の絵本の英訳を読んだ感想などを話してもらいました。



参加者のお子さんたちが、カンジャンさんの絵本についているぬりえを塗っている横で、カンジャンさんによる絵本のタイ語の朗読と、私の和訳を交互に読んでタイ語の響きを味わったり、日本のジュゴン絵本の作者や英訳者との対話を楽しんだり、と楽しい時間をすごしました。ジュゴンの絵本の読み聞かせなど、新たな企画の提案も出て、絵本の持つ可能性を感じた機会でした。

河村雅美(沖縄・生物多様性市民ネットワーク)

参加しました

生物多様性条約COP10/MOP5 開催1年前イベント



「劇団シンデレラ」の子どもたち

10月11日秋晴れの気持ちの良い日曜日、名古屋国際会議場で開催された1年前イベントに参加しました。SDCCは、活動発表とパネル展示での参加です。蜷川さんの活動発表では活発な意見交換がありました。「IUCNでの3度の決議採択」「2010年は国際ジュゴン年」「新しい署名」という活動の成果と今後の取り組みが皆さんの関心を集めたようです。

パネル展示は思っていたより広いスペースがもらえ、資料をたくさん並べることができ、ジュゴングッズの販売もしました。もちろん、新しい署名も集めましたよ！署名用紙を預かってくれる人もいました。嬉しいな。辺野古・大浦湾の海の写真は好評でした。自然豊かなアオサンゴの海はほんとに美しい。この海を埋め立てることなんてできないよね、と心の底から思えます。

他の団体も賑やかにパネル展示。オリジナルミュージカル「劇団シンデレラ」の子どもたちや、ウミガメ調査に取り組んでいる高校生たちも参加していて、地元でのいろいろな取り組みを知ることができました。

今回参加して感じたのは、まだまだこれから盛り上げていかなくちゃ！ということ。知る人ぞ知る会議にしたいなー、そんなのもないなー。「生物多様性」という大事なこと、すべての生命に共有していること、みんなに知ってほしい、みんなと一緒に考えたい。5月22日の生物多様性の日、100日前イベントなどなど盛り上げましょう。名古屋のメインストリートを『多様性ピースパレード』なんてどうでしょう！ジュゴンの着ぐるみをはじめ、いろんな動物に仮装したり、民族衣装を着たりして楽しくウォーク。歌いながら楽器を鳴らしながら。「多様だからおもしろい！」「みんな仲良く暮らそうよ！」そんなメッセージを伝えたいな。企画を練って様々な形で取り組んでいきましょうね！楽しみです。

池側恵美子

県民会議が上京行動

普天間基地・那覇軍港の県内移設に反対する県民会議が10月22日、23日と上京行動を取り組んだ。

上京団18人は首相官邸に官房副長官を訪ねて、県内移設反対を要請。夜の集会は立ち見が出る500人が参加し、9月18日県民集会で採択された決議（普天間基地の即時閉鎖・返還。辺野古・高江の建設計画の白紙撤回。辺野古アセスの中止と関連予算の凍結）の実現を確認しあいました。私たちも集会で「ジュゴンってしてる？」のリーフレットを配り、「ジュゴン保護区を求める署名」100筆を集めた。

翌23日は外務省、防衛省に要請行動。12時から衆議院第1議員会館で、沖縄等米軍基地問題議員懇談会が主催する院内集会が緊急に持たれました。

川内博史事務局長（民主党）から「鳩山衆議院議員が議院懇の会長」、「マニフェストや3党合意にある米軍見直しには県外移設は包含されている」と発言。山内徳信議員からは「政府は過去の候補地や経過を検証すると言っているが、当時の名護市長を4時間缶詰にして受け入れさせた事実をこそみるべき」と厳しく批判した。

上京団からは11月8日の3万人集会を取り組む決意が語られ、名護市議の東恩納琢磨さんからは「2010年生物多様性年。ホスト国として決断してほしい」と政府に求めた。

最後に、川内事務局長は11月8日の集会を教科書裁判上回る動員で県外移設を実現することを訴えた。



報告／アセス訴訟第一回公判

10月21日那覇地裁で辺野古アセスメント裁判第1回口頭弁論がありました。

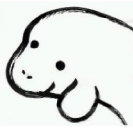
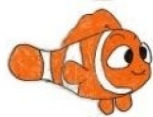
原告344人を代表して安次富浩原告団代表は、沖縄戦や米軍による植民地的占領体験から平和的生存権を主張し、沖縄防衛局の環境アセスの問題点を追及しました。また、東恩納琢磨事務局長は自らの生活体験を通して自然環境の悪化を憂い、基地ではなく自然を守ることで村おこしを進める決意を述べました。

弁護団からは、行政事件訴訟法に基づきアセス手続きを見直す義務と意見が奪われた慰謝料1人1万円を請求した理由を陳述しました。

被告沖縄防衛局は環境影響評価法では訴える権利を認めていないこと、環境保全の権利は個々人に認められたものではないと門前払いを求めました。しかし、田中裁判官は原告が主張する環境アセスの問題点への反論を被告に検討することを求めました。次回公判は12月25日午前11時から。田中裁判官は泡瀬干潟の公金差し止め判決を出した判事。第2次原告団278人は次回公判から合流する見込み。



関西事務所7周年の集い



ジュゴンを守る仲間たち

関西事務所7周年の集いに参加して

関西事務所7周年おめでとうございます！

今回の集会では、バルセロナでの自然フォーラムや、街頭署名の映像など、この一年間の数々の活動の報告を見せていただきました。

毎週何らかのイベントで活動されていて、とてもパワフルで驚きました！

そして、スタッフの方が作ってくださったとっても美味しい料理と、ジュゴンの里（泡盛）をいただきながら、参加者みなさんの熱い想いや、生物多様性の話、完成したばかりのジュゴンのリーフレットの話で盛り上がりました♪

ミュージシャンの方から、アートを職業にしている方などなど

今回も色々な人との出会いがありました。

同じことに興味を持った素敵な人たちに出会えて語り合えて、世界が広がっていく貴重な会でした。

今、環境保護も基地問題も、本当に深刻で厳しい状態ですが、

SDCCのみなさんは前向きに楽しく活動されていて、

希望を感じると同時に、自分も何かしてゆきたい！と感じました。

働くようになって半年の私は、日々の生活に追われ、なかなか社会問題に目を向ける時間を作れず・・・

なので、こういったイベントに参加すると、情報も得られるし、モチベーションも上がるし☆これからもよろしくお願いします！

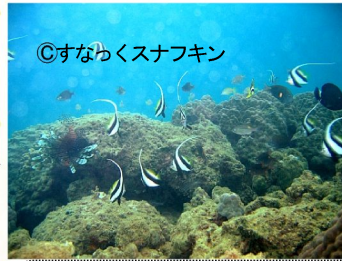
岡本朋子



ワッター海の写真展in大阪・吹田

ワッター海の写真展

大浦湾の 生き者たち



- 主催 ジュゴン保護キャンペーンセンター
- 写真提供 ダイビングチーム スナックスナフキン
- 日時 11月22日(日) 12時～19時
23日(月・休) 10時～16時
- 場所 吹田さんくすホール第2会議室
(JR 吹田駅下車すぐ吹田さんくす1番館4階)
- 参加費無料 コーヒー付き(無料)



PHOTO



ジュゴンマスコットを買ってもらってご機嫌です。
(10/12 戦争あかん基地いらん関西の集いにて)

大阪・アメリカ領事館前に
沖縄からジュゴンが4頭
やってきました!「オバマ
大統領は私たちを守っ
て!」(11/12)



Editor's Note

オバマ大統領来日の前日 11/12。大阪のアメリカ領事館に沖縄ジュゴン保護署名 2242 筆(62 の国と地域から)をとどけました。
11/8 の沖縄県民大会には 21000 人が集まり「普天間閉鎖。辺野古基地中止」を訴えました。
オバマ大統領! 沖縄県民とジュゴンの声を聞いてください!

(M)

★「ジュゴンぼち袋」発売中!

1 セット 100 円で発売開始です。お年玉をジュゴンにとどけてもらいましょう。同封のチラシを見て申し込んでください。

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL. 47 2009 年 11 月 17 日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2 1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

